

紙版 ハコブネ×ブックス 夏の増刊号

<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐwebサイトです。

紙版「ハコブネ×ブックス」

夏の増刊号

2022年8月15日発行

●発行人 きむらともお



バックナンバーは
こちらから
ご覧ください。

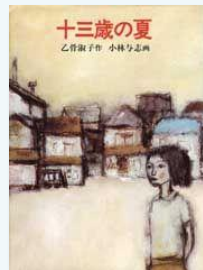
Twitter
連携して
います。

@tomoostretch



今回は夏を舞台にした**10代前半の女の子が主人公**の物語を集めました。読んでいだけで汗ばむような、夏の日々がここにあります。ちなみに、今年度が四月に始まる日本と、九月に始まる海外とは、夏休みの意味も違ってくるかもしれません。**宿題がないだけでも大違い**です。日本の夏と世界の夏を、この夏、是非、読み比べてください。

特集 日本の夏 世界の夏



十三歳の夏
(乙骨淑子)

あかね書房 1974年

春夏秋冬、それぞれの季節に物語があります。中でも夏は、児童文学にとって**特別な季節**です。乙骨淑子さんの『十三歳の夏』は名高い代表的児童文学作品です。匂いたつような夏の情景と生き活きた少女の**心模様**を交差させる見事な筆致の魅力は、刊行から半世紀近くが経った現在でも色褪せません。**地球温暖化の影響**で平均気温は上昇して、暑さはより過酷になり、現実の夏は姿を変えていくでしょう。それでも物語に繋ぎとめられた**あの夏の景色**には、いつでも再会できるのです。そして、あの時、震えた切ない気持ちにも。

特集

日本の夏



世界の夏



美乃里の夏



作者 藤巻史絵
出版社 福音館書店
発行 2004年7月
ISBN 978-4834019988

review



小学五年生の美乃里(みのり)が気づかなければ良いことに気づいたのは一学期の終業日直前のことです。自分が好意を抱いている男子、須賀君と、親友の茜が、お互いに無意識のまま惹かれあっていることに**気づいてしまった美乃里**。たいていの男子よりも大柄な美乃里は、茜のような可愛らしい子ではない自分に諦めがあります。失意のうちには夏休みを迎えようとしていた美乃里が、うっかり迷ってしまったインコを捕まえてくれたのが、遠くの学校に通う、実(みのり)という**同じ名前**の少年でした。背が低く、下級生のような実と、美乃里はこの夏休みを一緒に、近所の銭湯の掃除を手伝いながら過ごすことになりました。**火花やスイカ**とささやかな会話。やがてお別れする心優しい実との、温かく切ない夏の思い出の日々が美乃里の心に刻まれます。

レイさんといた夏



作者 安田夏菜
出版社 講談社
発行 2016年7月
ISBN 978-4062832397

review



中学一年生の莉緒(りお)の夏休みは引越とともに始まります。せっかく入った中学を一学期で転校したことに、莉緒はむしろ安堵していました。友だちに裏切られ、**人間不信**に陥っていた莉緒。なにもやる気になれず、部屋に閉じこもり、**無為に過ごす夏休み**。そんな彼女のかたづけのない部屋にわいて出たのが幽霊のレイさんです。莉緒より少し歳上で、茶髪に銀のピアス、黒ジャージ姿で関西弁を話すヤンキー風の幽霊。唯一自分の姿を見ることができると莉緒は、記憶がないレイさんは、自分が誰かを調べて欲しいと頼みます。それは、**学校生活で傷つき、自分が何者かわからなくなった莉緒の自分探し**に繋がります。やがて親しくなったレイさんの正体を知り、莉緒は葛藤します。人を思いやる気持ちこそが自分自身であると思いつく。新しい世界の扉を開ける夏の出来事です。

歩きだす夏



作者 今井恭子
出版社 学研プラス
発行 2004年6月
ISBN 978-4052021848

review



小学六年生の加奈子(かなこ)は離婚した両親のことで頭を悩ませています。いつもは母親と暮らしている加奈子ですが、長いお休みには一人で父親のいる北海道に行くことになっていました。父親が女の人と付き合っていることを感じとっていた加奈子は、この**夏休みに父親の家に滞在**することに戦々恐々としていました。父親が再婚する可能性。そもそも加奈子は両親が離婚した理由をちゃんと理解できていません。仲が悪くなったわけではないのに、それぞれの道が**違って**しまった二人。夏休みに北海道に行けば、案の定、父親の恋人に会うことになってしまいます。うろたえながらも、大人たちの気持ちに加奈子は少しずつ近づいていきます。悩み続ける加奈子が、自分もまたあるがまま思ったように生きようと決意する**歩きだす夏**。踏みとどまっていた場所から一歩前へと進んでいく、悩める夏の日々です。

みずがめ座流星群の夏



作者 杉本りえ
翻訳者 ポプラ社
発行 2015年6月
ISBN 978-4591145036

review



小学六年生の花(はな)は、学習塾に通うバスで、偶然、同じクラスの莉子(りこ)と乗り合わせます。莉子は大病院に入院している難病の兄を見舞いに行く途中でした。特に親しくなかった二人は、これをきっかけに**言葉**を交わすようになります。身体が大きくて可愛らしい莉子は、自分にはないものを持っているお互いに、ちよつと憧れを抱いていました。母親の再婚を巡って心を悩ませていた花も、莉子と親しくなり気持ちが明るくなります。夏休みに高原で行われる塾合宿を**真夜中に抜け出し**て、莉子の兄が見たがっていたという、**みずがめ座流星群**を見に行こうとする二人。流れ星にそれぞれ何を願うのか。辛いことがあっても、心を繋ぎあえる友だちと一緒に乗り越えていくことができる。未来への希望が流星のように煌いています。



星を見あげたふたりの夏

A HANDFUL OF STARS.

作者 シンシア・ロード
翻訳者 吉井知代子
出版社 あかね書房
発行 2018年7月
ISBN 978-4251065735

review



広大なブルーベリー畑が広がるメ
イン州の田舎町に暮らす**十二歳**のリ
リー。両親はおらず、祖父母と一緒に
暮らすリリーは、ちよつと**心配性**
で**臆病**なところがあります。白内障
で目の見えない飼犬のラッキーが
逃げ出してしまった後を追いかけて、
リリーはブルーベリー畑で働く
サルマという女の子と知り合いま
す。家族で**色々な土地の農場で働く**
ヒスパニックのサルマ。共に犬を愛
する二人は親しくなり、ラッキーの
目の手術代を稼ぐために、ブルーベ
リーフェスティバルにお店を出そう
と計画します。ところが、リリーの
友だちのハンナに誘われて、サルマ
はフェスティバルの**ブルーベリー・
クイーン**のコンテストにエントリー
することになります。偏見の強い
保守的な土地で、サルマのよう
な子がクイーンに選ばれるのか。リ
リーも勇気を振り絞り、サルマを応
援する覚悟を決めます。



マンチキンの夏

SHORT.

作者 ホリー・ゴールドバーグ・スローン
翻訳者 三辺律子
出版社 小学館
発行 2022年3月
ISBN 978-4092906266



飼犬のラモンを亡くした**十二歳**
のジュリアは、沈んだ気持ちのまま
夏休みを迎えました。新学期までに
はこの悲しみから抜け出したいと思
いながらも、なかなか前に進めませ
ん。親友たちは、家族旅行やサマー
キャンプに行つてしまい、一人きり
のジュリアに母親が勧められて、
は、大学で行われるセミプロ劇団の
舞台に出演するための**オーディション**
を受けることでした。演目はあの
『**オズ魔法使い**』。背が低いジュリア
は小さな子どもたちに混ざって、小
人役のマンチキンに選ばれます。ブ
ロードウェイでも活躍する舞台監督
の指導を受けながら稽古に励むジュ
リアは、一緒に舞台を作っていく大
人たちの、**年齢や偏見に負けないパ
ワー**に圧倒されます。年のわりに背
が低いことへのコンプレックスや、
飼犬を亡くした悲しみを乗り越え
て、この夏、ジュリアは自分の世界
を広げていきます。



ジェリコの夏

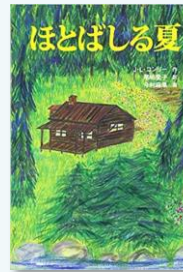
Faraway summer.

作者 ジョハナ・ハーウィッツ
翻訳者 千葉茂樹
出版社 BL出版
発行 2021年7月
ISBN 978-4892385995

review



ニューヨークに暮らす**十二歳**のド
ーシーは、夏の二週間を、バーモ
ント州の田舎町ジェリコで過ごすこ
とになります。空気の悪い都会に住む
貧しい子どもたちに、健康的な田舎
体験を提供してくれるフレックシユ
エア基金のおかげで、**束の間山村
留学**を体験することになったので
す。一九二〇年八月、ドーシーは旅
立ちます。**ユダヤ教徒**の彼女が、キ
リスト教徒であるホストファミリー
のミッド家のお世話になるには、戒
律の違いもあり、理解してもらわ
なければならぬこともあります。農
作業や畜産などの田舎体験を通じ
て、ここでの生活を満喫するドーシ
ー。なかなか打ち解けられなかった
ミッド家の娘エマとも、**行方不明
ばかりの『赤毛のアン』**を通じて親
しくなっています。二十世紀初頭
を生きたる、**ごく普通の少女の夏の
日々**が、のどかなジェリコの町で輝
いています。



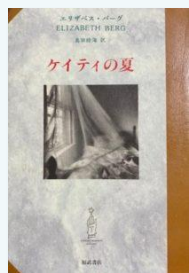
ほとばしる夏

Trout summer.

作者 ジェイン・レズリー・コンリー
翻訳者 尾崎愛子
出版社 福音館書店
発行 2008年7月
ISBN 978-4834019902



郊外の溪谷で丸太小屋を借りて夏
休みを過ごす**十三歳**のシャーナ。母
親の仕事の都合で余儀なくされてい
る都会暮らしは、自然の中で育つた
シャーナには息が詰まるような生活
でした。だからこそ夏休みには**ワイ
ルドライフを満喫したい**と思ってい
たのに、川の自然を守る森林管理官
のヘンリー老人が現れて、厳しい指
導を受けます。それでも次は、シ
ャーナと弟のコーディーは、この偏
屈な老人と打ち解けていきます。カ
ヌーのコーチを通じて、弟がヘンリ
ー老人と親しくなっていくことにち
よつと嫉妬を覚えたり、**母親との心
の距離**をはかりかねて、気持ちがす
れ違ってしまったり、家族を置いて
アートの勉強に旅立ってしまった身
勝手な父親のことはやはり理解不能
だったり。色々なことに思い悩みな
がら、決意を新たにする人生のター
ニングポイントとなる夏。**冒険的な
クライマックス**にも驚かされます。



ケイティの夏

Durable Goods.

作者 エリザバス・バーグ
翻訳者 島田絵海
出版社 福武書店
発行 1994年7月
ISBN 978-4828824826

review



テキサス州の陸軍駐屯地に父親と
姉と暮らす**十二歳**のケイティ。軍人
で大佐の階級の父親は娘たちのしつ
けに厳しく、すぐに怒鳴り、言うこ
とに従わないと叩くこともありま
す。もつと自由に生きたいという思
いは、恋人もいる十八歳の姉のダイ
アンだけでなく、ケイティにも兆し
ていました。ケイティは時折、亡く
なった母親のことを思い出します。
どうして亡くなったのか、父親は詳
しいことを教えてくれません。母親
を深く愛していた父親もまた、**特別
な人を失った痛み**を抱えていたの
です。軍人として頑なに肩肘をはって
生きていた父親と娘たちの気持ちは
すれ違っています。勤務地変更で、また
引越しなければならなくなった
ケイティは姉と一緒に家出を試みま
す。**不器用な言葉の裏**に感じとらさ
れる親子の情感。静かに沸きあつた**十
二歳の心象と夏の情景**がスパークす
る快作です。



家族さがしの夏

The outside child.

作者 ニーナ・ポードン
翻訳者 西村醇子
出版社 国土社
発行 1998年9月
ISBN 978-4337208056

review



母親は小さな頃に亡くなり、船の
機関士の父親は海外航海ばかりで、
なかなか帰ってこられないために、
十三歳のジェーンはおばさんたちの
家に預けられていました。しかし、
父親の船のキャビンを訪ねた時、飾
られた一枚の写真から、父親には自
分とは別の**家族がいる**ことをジェ
ーンは知っていました。ジェーンが
傷ついたのは、自分が知らない家族
がいたことではなく、父親がそれで
自分に隠していたからです。それ
も、まだ会ったことのない**家族と会
つてみたい**と思うジェーン。弟や妹
はどんな子たちなのか。他人になり
すまして、うまく妹弟に近づくこと
ができたジェーンですが、そのこと
で過去に秘められた記憶が目覚ま
すこととなります。自分は決して**家
族からはみ出した**「はみだしっ子」
ではないのだと思う、豊かな感受性
を持った少女の繊細な心の機微を捉
えた夏の物語です。